

## 令和6年度 地元産業界等との連携した実践的PBLを含む授業科目等の開講の実施

### 1. 連携している地元産業界等の組織名称

北海道電力株式会社

### 2. 当該授業等を実施する学部・学科

ビジネス情報学科

### 3. 当該授業等を開講する目的

檜山沖の洋上風力発電事業への企業の認知度向上

### 4. 当該授業等の具体的な内容

北海道電力株式会社より、檜山沖で計画中の洋上風力発電事業に関して「事業の機運を高めるためには、地域の企業が洋上風力発電に関心を持つことが不可欠である。しかし現状では十分に認知度が高まっておらず、どのような解決方法が考えられるか」という課題を受け、授業内でこれを取り扱うこととした。

まず現状を理解するため、行政へのインタビュー調査を実施した。乙部町とせたな町を訪問し、町長および役場の担当者から、地域における洋上風力発電事業への姿勢や企業への働きかけの実情について話を聞いた。これらの聞き取りを踏まえ、企業を対象とする調査項目を策定した。続いて、函館商工会議所で開催された洋上風力発電セミナーの会場において、参加企業を対象にウェブ方式によるアンケート調査を行った。この調査は函館市に限らず、道内の他地域でも同様に実施することとなり、広域的なデータを得ることができた。

収集した回答は統計的手法を用いて分析し、その結果をまとめた報告書を作成した。報告書では、地域企業の洋上風力発電に対する認知度や関心の程度を明らかにするとともに、事業推進のために有効と考えられる方策について考察を加えた。完成した報告書は北海道電力および函館商工会議所の担当者に提出し、授業の成果として今後の洋上風力発電事業を効果的に進めるための提案を行った。